

2012 年度活動報告

I. 2012 年度活動報告

<2012 年度 消費者ネットワークわかやま活動内容>

1. 会員を増やす取組みについては、2 年目の活動として、準備会からの参加団体や関連の方を中心に働きかけをすすめました。さらに様々なとりくみを通して活動の基盤としての新規会員の働きかけを進めていく必要があります。
個人会員 359 人 689 口、団体会員 8 団体 340 口となっています。それぞれの構成団体や個人及びつながりのある組織などに、加入の呼びかけをすすめました。
2. 被害情報や活動内容などの情報提供を会員へ行うために会報「消費者ネットワークわかやま 四季だより」を年 4 回(6 月、9 月、12 月、3 月)発行しました。
3. 消費者啓発に向けた学習会を実施しました。
 - ①会員に消費者問題学習会などの企画として、第 2 回総会の記念講演として、「消費者問題への思いと国民生活センター」と題して、国民生活センター理事長 野々村 宏氏をお迎えし、学習をおこないました。
 - ②消費者啓発講座や「集団的消費者被害回復に係る訴訟制度」の学習会を開催しました。
4. 消費者行政のヒアリング調査を引続き行い、県内全市に訪問し状況把握をすすめました。調査内容をまとめて、京都で開催された平成 24 年度近畿ブロック地方消費者グループフォーラムにおいて壁新聞の掲示による活動紹介や実行委員会に参加し、他府県の行政や他団体と連携をすすめました。
5. 世話人会を 10 回開催し、活動内容の具体化について話し合いました。

II 2012 年度主な活動記録

(1) 和歌山県下の各市で消費者行政ヒアリング調査を行いました。

期 間:2012 年11月6日～11月28日

訪問者:消費者ネットワークわかやま世話人、わかやま市民生協 職員、組合員 のべ44名

消費者ネットワークわかやま世話人とわかやま市民生協組合員が合同で消費者行政担当窓口を訪問し、現状の課題や今後の問題点などについてヒアリング調査を行いました。
各行政ともにさまざまな取り組みを展開していましたが、ほとんどの市は相談窓口の周知、窓口体制の充実を今後の課題としてあげていました。



和歌山市(11/6)

年々相談件数が 200 件の幅で増加してきています。また内容についても訪問販売(布団)からインターネットの情報サービスや電話による振り込み詐欺が主流で年々巧妙化して来ています。



岩出市(11/12)

まだまだ、相談窓口を知らない方が多いので、一緒に学習会等の企画を通じて呼びかけを行っていきたい。



橋本市(11/12)

行政の担当者の方のやる気が伝わって来て、とても頼もしく感じました。



海南市(11/28)

市民相談室での相談が増加していることで、この間の注意喚起や啓発講座への呼びかけなどの取り組みの成果が表れている。



紀の川市(11/12)

相談の内容は、インターネットや携帯サイトに関わるトラブル、通信販売のトラブルが多く、高齢者に限らず、若者の被害も増えている印象を受けました。



有田市(11/28)

消費者被害注意呼びかけをプリントした回覧板やカレンダー、シールを作成し、市民への啓発をくまなく行っている。防災無線を使った地区放送による呼びかけが効果的。



御坊市(11/20)

市の予算、活性化交付金の枠内での活動は、啓発運動を軸とし教育委員会や消費生活センターとの連携を強化している



田辺市(11/20)

消費者被害として社債、金の採掘権、湧水権詐欺など劇場型のもが多くなっている。啓発用として、活性化基金を使い市独自でパンフ4万部を作成。全戸配布を実施し、消費者被害を未然に防ぐことに重点をおいている。



新宮市(11/15)

相談窓口が分かるようにプレートを設置。相談員による説明会を毎月1回行っているが参加が少ない。来年度以降に啓発講座の予算がとれるかが課題。

昨年の模様

(2) 消費者啓発講座や学習会のとりくみ

消費者講座のとりくみ

日 時:2012年9月15日(土) 10:00~12:00
場 所:わかやま市民生協 本部組合ホール
参 加:29人
講 師:渡辺 富美 氏、田村 聡志 氏
(NPO法人消費者サポートネット和歌山)



9月15日(土)、わかやま市民生協組合員ホールにて「わかやま市民生協たすけあいの会」との共催で、『私は絶対大丈夫と思っているあなたへ ~消費者被害について~』というテーマで、啓発講座を開催しました。

講師にNPO法人消費者サポートネット和歌山から相談員をお招きし、最近の事例から高齢者がだまされやすい手口など寸劇や紙芝居を交えて学習を行いました。

日 時:2013年2月8日(金) 11:20~13:00
場 所:わかやま市民生協 本部組合員ホール
参 加:21人
講 師:戸井 洋木 氏
(司法書士、消費者ネットワークわかやま世話人)



2月8日(金)、わかやま市民生協が主催するエリア委員会交流会に「消費者ネットワークわかやま」の世話人から講師を派遣しました。スマートフォンなどの普及により急増しているインターネットトラブルをテーマにして『急増するスマートフォンやインターネットのトラブル』と題し、ネットトラブル、電子マネー、サクラサイト、ペニーオークションのしくみなどを学習しました。

学習会のとりくみ

日 時:2012年11月29日(木) 10:00~11:30
場 所:わかやま市民生協 本部組合員ホール
参 加:44人
講 師:上村 英之 氏
(和歌山県県民生活課 副課長)



11月29日(木)、わかやま市民生協組合員ホールにて『集団的消費者被害回復に係る訴訟制度(仮称)』について学習会を行いました。

同一業者・同じ様な手口で多数の被害が発生する消費者被害は年間約90万件。消費者を救済することができる新制度について、分かりやすく説明をしていただきました。参加者からは「難しい内容だったが、事例などをふまえて説明してくれたのでとても良く理解できました。」「早く実現してほしい!」などの声があげられていました。



(3) 平成24年度 近畿ブロック 地方消費者グループ・フォーラムに参加しました。

消費者庁の呼びかけにより、地域の消費者行政(地方消費者行政)の充実を図るため、地域で活躍する消費者団体をはじめとして、多様な主体が消費生活に関する問題に関して認識を深め、交流・連携し、情報交換や意見交換を行う「交流の場」として開催されました。

消費者ネットワークわかやまも実行委員会に加入し、当日は壁新聞交流会に活動報告の展示を行い、他団体との交流を図りました。

日 時:2013年2月6日(水)

11:00~16:00 壁新聞交流会

13:00~16:30 全体会・分科会

場 所:キャンパスプラザ京都

テーマ:『広げよう連携の輪～消費者問題の解決を地域から～』

参加人数:167名

参加団体:64団体

主催 地方消費者グループフォーラム近畿ブロック実行委員会・消費者庁



全体会の模様

壁新聞交流会では「消費者行政ヒアリング調査」や「消費者講座」の模様を展示しました。また、午後からの分科会では橋本市が活動報告と今後の課題を報告しました。



壁新聞交流会の模様



第1分科会の模様

| 内 容 | |
|--------------------------------------|------------------|
| 壁新聞交流会 | |
| 消費者庁長官挨拶と報告 | |
| 消費者庁長官 | 阿南 久 氏 |
| 地方協力課 | 村松 茂 氏 |
| 団体報告「リレー報告：京都における行政と消費者団体間の連携関係について」 | |
| 京都消費者力向上委員会 | |
| 京都府生活協同組合連合会 | 専務補佐・事務局長 坂本 茂 氏 |
| 京都消費者契約ネットワーク | 理事・事務局長 長野 浩三 氏 |
| NPO法人コンシューマーズ京都 | 理事長 原 雅 氏 |
| 分科会 | |
| 第1分科会「広げよう連携の輪 ～消費者行政の推進～」 | |
| 橋本市 | |
| なら消費者ねっと | |
| 第2分科会「広げよう連携の輪 ～情報格差をなくすための支援～」 | |
| 大阪市 | |
| NPO法人C・キッズ・ネットワーク | |
| 第3分科会「広げよう連携の輪 ～消費者啓発の推進～」 | |
| 神戸市 | |
| NACS西日本支部 | |
| 全体会(分科会報告) | |
| 消費者庁長官講評(※質疑応答を含む) | |
| 閉会 | |

(4) その他の活動

年4回の会報 『消費者ネットワークわかやま 四季だより』を発行しました。

(発行月 6月・9月・12月・3月)



